



大和中ロータリークラブ会報

LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で道を照らそう

R.I 会長 James L. Bomar Jr.

第 65 回 例会 1979 年 10 月 4 日 (木) くもり 第70号

出席報告

会 員 数	出 席 数	出 席 率	前回の修正
27 名	24 名	88.8 %	96.39 %
欠 席 者 布施, 木崎, 竹之内			

芦田会長テーマ 友愛と協調

司 会 芦 田 会 長

ゲ ス ト

建野正毅氏

ビ ジ タ ー

上坂信夫君 (東京港南), 田尻洋三君 (藤沢北)
上野次郎君 (横浜瀬谷), 高寿昌良君 (横浜田園)
吉村茂君, 田中純一君 (座間), 藤本孝君, 黒川
孝君, 浜野忠良君, 江上尚志君 (大和)

会 長 報 告

- ・優秀会報選考会において 大和中クラブ会報が第6分区内での第1位に選ばれたそうです。会報委員会の方々のご苦勞に感謝いたします。
- ・10月20日, 21日の地区大会には全員出席されるようお願い致します。特に分区代理連絡会で地区大会を経験されていない新会員は是非出席されるようにと, ガバナーから要請がありましたので出席して下さい。
- ・袴田和雄会員より退会したいむねの届が出ておりましたが, このたび理事会において承認いたしました。

- ・新入会員候補 古木勝治氏及び高山正雄氏の申請が提出されておりますのでご検討下さい。

幹 事 報 告

- ・鶴見北R.C.は9月14日付で横浜鶴見北R.C.に変更になったとのR.Iからの報告がありました。
- ・地区大会登録料 ¥9,000 並びにGSE受け入れについての1人当りの分担金 ¥1,000を事務局にお払い込み下さい。

委 員 会 報 告

国際奉仕委員会

郡司委員長

- ・GSE研究グループ受け入れは予定表通りですが, 10月22日(月)7時頃よりGSEのメンバーの方々, 中国留学生の皆たんそして私達とあい集いての懇親会を計画しております。詳細は後日お知らせいたしますが, 22日の夜を予定しておいて下さい。(会費¥6,000くらい)

本日のプログラム 10月7日

家族会 (飯山温泉郷)

次週予定 10月18日

「職業奉仕週間にあたり」 鈴木克也氏

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事務所 : 大和中央1-5-40
及び 大和市商工会館内
例会場 電話0462(63)7926

例会日 : 毎週木曜日12時30分より
会 長 : 芦田 敬治 副会長 : 佐藤 実
幹 事 : 北砂 富三 会報委員 : 上田・竹之内・郡司

米山奨学記念委員会 有沢委員長

- 10月1日から米山週間に入っております。すでに米山ボックスを設置してありますので一層のご協力をお願い致します。

職業奉仕委員会 寺田委員長

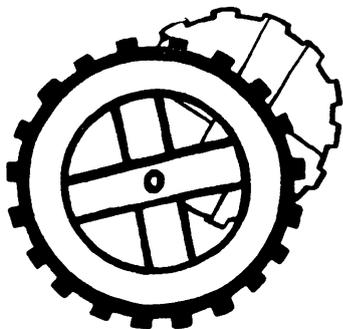
- 10月11日 第2回炉辺会合が予定されています。従業員関係について、或いは11月23日勤労感謝の日に当り推奨したいことなどに就いて検討して頂けるようお願い致します。

ゴルフ同好会 富沢幹事

- 10月14日ボーイスカウト チャリティ G.C.7 00 ~ 7 30ゲイト前に集って下さい。
- 3クラブ合同 G.C.が10月16日火中津川 C.C.で行なわれます。ご希望の方は8 30に集合して下さい。
- 11月11日 大和中クラブ第1回のコンペが箱根園で行なわれます。参加される方を再確認いたします。

親睦活動委員会 中西委員長

- 本日のお祝いの方2名、結婚記念日 寺田伍六君、石渡英二郎君（ともに10月10日）
- 家族会10月7日 午前10時集合です。家族の方々のご出席がやゝ少ないようです。家族会の何たるかを再認識して下さい。



ソウル アジア地域大会の

思い出 寺田伍六会員

20日午後、2時間ほどジェット機に乗っただけで金浦空港に着陸。早速仁川東ロータリアンとローターアクト会員が手を挙げて我等の一行を出迎えてくれた。中クラブの私達5名はこのアジア地域大会に参加するに当ってその企画行動の総てを大和中クラブの行事予定の中に一諸させて頂く事をお願いしてあったので、如何にも気楽な訪韓の旅であった。バスで立派な三車線高速道路を一路仁川へと飛ばして宿舎の百済ホテルに案内され、やれやれ一安心といった塩梅。空港まで出迎えてくれた仁川東クラブの国際委員長の崔さんは大変日本語の上手な人で温厚な紳士でした。互いに話がはずむにつれ久縁の地で我が友と久方ぶりの再会を喜び合うが如く、懐しさと歓びにつまれ感激するところでありました。この事は千年を超える大陸と日本との交流の永い歴史からみてもお互いの祖先が営々とつないできた日韓両国の交友の契りでもあったわけです。比度の訪韓に当っては仁川東クラブの会長さん始めロータリアンとローターアクトの総ての人々が心から歓迎して下さい、丁寧な御接待をいたされたわけでありました。本当に感謝にたえません。その夜に仁川東クラブの主催で豪華なパーティーが催され、親しく双方のロータリアンが一つになって談じあい、肝胆あい照すのおつき合いが出来その意義は深く又楽しい一夜でもありました。翌21日はソウルでのアジア地域大会に出席。韓国一の大会堂におけるこのアジア大会は国を挙げての行事であろうかと思われるほどの充実した盛会であり、国外参加者六千名という成功ぶりであった。ポマー R I 会長の講演も一段と熱気溢ふるものであった。「アジアの平和をもって世界の平和の祖めとせよ」会長の示唆されることは、韓国に対しても日本にとっても深い意義をもつものであり、この国際大会に参加した我等アジア地域のロータリアンがいとしく深い感銘を以って賛同する処でありました。翌22日はロ

ーターアクトクラブとの交流においてKAL大学に案内された。誠実で愛国心に培われた素晴らしい多くの青年達に接し、心新たに感動すら覚えるのであった。翌23日は自由行動という事になり、私はその日大和クラブの小武さんが幼い思い出の地である国境近くの“夢の故郷”へお連れねがう事になった。そこはソウルの発展ぶりとは全く異った純朴な農村であり、四囲には美しい緑の山々が連なり、ポプラと柳の並木道がどこまでもどこまでも続いていた。その樹々のあしもとには今を盛りと咲きつめたコスモスのピンク、黄、真紅の花びらが澄みきった青空に冴えて爽やかな北国の秋、日本にはないすがすがしい風影を楽しむ事が出来た。尋ねた母校（国民学校）には伊校長先生と共に小武さんのクラスメートが8名、43年ぶりの再会を楽しみに待ちかまえている処でした。唯々懐しい、肩をいだき合って喜ぶ旧友の姿に接し、国境を超えた友情の尊さ、これが人間の真の姿であったのです。人間の情のうるわしさに心打たれ感激させられました。なお校長の尹さんは昭和16年から18年まで世田谷の大正大学に学ばれた由、これまた懐しい思い出でした。やがて旧友の心づくしで“ドブ Rok”パーティーが開かれその席で遂に小武さん同窓会の会長に推挙され、とうとう断り切れない破目。ハイ承知しました。拍手で迎えられたうらやましい光影でした。同席の大和クラブの河野さんと私、これは目出度しとお祝いの金一封、これまた会場一ぱいの拍手を頂き国際奉仕の一助となりました。さて名残りつきない旅でしたが翌24日午後想い出のソウルを発ち帰路につき、夜8時すぎ4日ぶりに我家に戻りました。この大会参加中は大和クラブの町田会長、小栗実行委員長又小武さん、星先生を始め皆さまから色々とお世話願ったお蔭で、私達は心豊かな旅を楽しむ事が出来ました。仁川東ロータリアンの皆様、韓国の素晴らしい躍進と国民の皆様の固い団結、そして健康と明るい笑顔、いつまでも私は忘れません。大変有難うございました。どうぞお元気でまた会いましょう。

民俗村見聞録

富沢重徳会員

ソウルから約40分タクシーをとばすと静かな京畿道の山あいに民族村があります。

こゝには韓国の固有の民俗と歴史が再現されていて膨大な敷地にワラ葺、瓦葺のオンドル付き民家が2百戸近く建ち並び、李王朝時代そのまゝの生活様式が見られます。

両側に魔除けの彫刻を施した木柱が立っている入口を通ると酒屋、菓屋、餅屋等が軒を並べ、機織りからは民族衣装の村人達があやつる機織りの音がきこえ、鍛冶屋でははさみ、庖丁、農具等を伝統的手法で作っている様子が、又足げりのロクロで高麗青磁や李朝白磁を素朴に作っている姿が目にとびこんで来ます。

広場ではノルデキ（板跳び）という日本の「ギッタンバタン」の事で韓国古来の娘達の遊びだったのですが、それに打ち興じたり、チマ、チョゴリ姿もあてやかな娘達の一つブランコに向い合って乗り、こぎ合っている姿が見られ、^{トルギ}周衣という古来の衣装をつけた老人がのんびり散歩したりしています。又野外公演場では鳴り物ものにぎやかに少年農楽隊が激しい民族踊りを披露しています。全くそうした光影に浸っているといつのまにか自分が李朝の昔に生きているといった雰囲気になります。更にこの村には^{ヤンシ}両班屋敷という豪勢な屋敷があります。99間家とも呼ばれており、主な建物だけでも舎廊（主人の居間）、内堂（女主人の居間）、草堂（娘の部屋）、祠堂（先祖の霊を祀る廟）、庫房（家財道具を置く所）、行廊（召使の起居所）第があり、出入の門も12ヶ所に互っています。聞く所によると、李朝時代には特に身分制度がきびしく両班とは高級官使の文班と武班の総称で、彼等が時の権力と金力にものをいわせて建てさせた特別ぜいたくな屋敷だそうです。儒教思想に根をおろした男女、上下の差別が住居の構造にもはっきり表われ又韓国古来の生活様式、家具調度品が見られて民俗村はなかなかの興味深い所でした。

キムチ 韓国の食生活

辻 国明会員

韓国料理は一般的に日本料理と中国料理の中間のものだと思ってよいだろう。日本料理が魚を多く用い、中国料理が脂肪分の多い豚肉を多く使うのに対して韓国料理は肉類、魚類を問わず蛋白質の多いものをよく使う。又野菜類を多く用いるのも大きな特色である。現在、日本にも韓国料理店が多くあり、焼肉などのおいしさはご存知の通りですが、現地で味わう焼肉（特にカルビー）とは格別の違いがあります。

では韓国的一般家庭の食事は、御飯、汁物、キムチ、お菜の4種類からなっていて、飲食店の韓定食もその通りだ。汁物のことを韓国ではクックと呼ぶが、その種類は多く、内味も季節により異り味合いを高めている。韓国の人々の主食は勿論日本と同じ米の御飯だがキムチも絶対に欠かすことの出来ない副食物だと言えよう。では本物のキムチ作りのお話をしよう。キムチは漬物には違いないが、日本のように食事の終りに少し食べるというのではなく、その種類も豊富で仁川にある魚市場を見学した時初めて認識した訳ですが、キムチの代表とされているトンキムチは1束の白菜の1枚ずつの葉の間に細かく、薄く、或いは千切りにした大根、唐辛子、しょうが、にんにく、ねぎ、イカ、貝類（アワビ、アサリ）や石首魚（グチ）、小エビなどの魚から松の実、梨まで入れ、大きなタルの中に漬けるのである。これは冬に食べる野菜の貯蔵法でもある訳で、冷たくピリっとした酸味のあるキムチの味は、他の漬物に比べようがない程食欲をそゝわれたものです。一方のキムチのうちカクトウギも忘れてはならないもの。カクトウギは大根を四角に細かく切り、唐辛子、ねぎ、にんにく、塩を調味料とし魚などを入れてつけたもので、その色は赤く、見るからに辛そうだ。だがその風味は独特なもので、食べ慣れたらその味の魅力がなかなか忘れられない。又キムチから自然に出る汁があり、それは加工されていない生気豊富なビタミン剤で精力の推進を助けるもので、私達

も例外ではなく好んでいたゞきました。又、現地の人達は炭火による軽い一酸化炭素中毒や二日酔に効めがあるという。この点次回の韓国旅行の時に試みたいと思います。

以上でキムチを通じて韓国の食生活の一端を述べてみました。



韓国の人たちは我々日本人にとっても親切でした。朝食に下町のあまりきれいでない食堂に入ると、中年の男が真露（焼酒）をのんでいました。私達を見るとすぐに寄ってきて、一ぱいどうぞとよく来てくれたといつのまにかさしたりさされたり。昼間タクシーに乗るとすぐに日本人歌手のカセットテープをセットしてナツメロを聞かせてくれる。夜、韓国の飲屋を訪ねてみると、隣り合わせの青年が韓国で一番上等なタバコを出して、どうぞ一服と。又彼のオードブルを盛んに勧めてくれる。貧富の差がかなり激しく、北への異常な警戒の中で生きているという状況下ではあるが、韓国の人達は親切で日本人を心から歓迎してくれているという心情の一端を、街のちょっとした人たちとのふれ合いで感じたことは忘れられない思い出です。

卓 話

「パラグアイの医療情勢について」

ゲストスピーカー 大和市立病院外科医長
建野正毅氏

紹介 上田会員

大和市立病院 外科医長 建野正毅先生をご紹介致します。皆さん一見してお分かり頂けると思いますが、大変責任感の強い誠に頼もしい外科医であります。昭和49年から2年間 外務省の外郭団体であるところの国際協力事業団の招請に応じ、パラグアイ共和国において診療に従事されていたのです。

只頭の中で考えているだけでなく、それを実行したのです。大変立派な事であります。

いろいろとご苦労も多かったと聞いておりますが、本日はその一端をお話し頂けると思います。そしてこれが3-Hプログラムの理解の一つに加えられるならば幸せです。

建野正毅氏

ご紹介頂いた建野でございます。スライドを使っただけで纏りのないお話しになってしまうことをご了承下さい。ある時 市立病院の会合の席で上田先生からロータリーの3-Hプログラムについて伺ったことがあります。日本における小児医療の推移についてのデータは正確ですし改めて我が国の医療の発展について再認識いたしました。しかし発展途上国のそれは余り当てにならない、多くの場合はより悪い数値であろう事についてお話しをした事がございました。その際は是非貴君の経験談を卓話にして欲しいとのお話しを頂きお引受けした次第です。

発展途上国の更に山の僻地には中央政府の情報などは殆んど届くこともなく、末端部におけるデータの採集はかなり難しいのではないかと思います。

パラグアイ共和国は南米の山奥中央部に位し、人口250万人余、亜熱帯地で日本と同じ広さです。パラグアイにはこれといったものは少なく、スライドの如く、民族舞踊と世界一大きいと言われて

いる滝くらいのものでしょうか。私の赴任いたしましたアウトパナ移住地はパラナ川をはさんでアルゼンチンと国境を界にしております。日本人移民1,500人、現地人1,500人、並びにドイツ移民500人余りが居住しておりました。移民はそれぞれ20年近くも経っており自然に貧富の差も生まれているようでした。スライドに見られるように原野に小さな集落が点在しているといったところで、バス等は一日一便あるかないかです。それも大変に不定期なのですが、何時間も待っているというノンキな国民性です。



(ペオンの小屋)

スライドのようなかなりみすぼらしい住宅が多いのですが、これでも当地では中流で何人かの農奴(ペオン)を持っており、何台かのトラクターを使っています。ペオンの住民は更に悲惨で公衆便所みたいな所に十数人が一諸に生活していました。患者の枕もとにはニワトリが卵をだき、足もとでは豚が寝ているといった具合で家畜同然のあり様です。一部の裕福な人達は別として肉など口にする事も出来ず、アンジョカと呼ばれる芋を主食としています。たまにトラードという大魚が食べられるならばよい方なのです。



(小学校とDr.建野)

診療所にはベットは10床しかありませんが、あふれて廊下に寝かされても文句をいう患者はいません。往診にジープに乗って出掛けるのですが、往診依頼の連絡を受けるまでに1日は過ぎている

為、我々が到着する頃には事切れている場合が少なくありませんでした。写真はこの村唯一の小学校ですが、小さな小屋の中は暗くこれではろくな教育ができる筈がありません。

今迄の死因についての正確なデータは勿論ありません。私は一軒一軒歩いて集積してみたのですが、その順位は 癌、不慮の事故、脳血管疾患、肺炎、腸内感染のようでした。事故が多いのは原野の開墾の厳しさを物語っているように思えました。寄生虫は殆んどの人達が罹患していると言ってよいかと思います。動物性蛋白質の摂取が不十分であり、加えて寄生虫病によるところの慢性貧血のため人々は無気力なその日暮しを続けているのです。又一寸興味のあることは移住民の背丈の伸展度であり、日本国内に見られるような伸びはなく20年前と殆んど変わっていません。この現状にそくした救助対策があるでしょうか。例えば駆虫剤を投与し虫をおとしたとしても再感染は明らかであります。成る程公衆衛生環境の改善とか生活水準の高揚とか言う事は易しいのですが、何をなすべきかを問われると困ってしまいます。

現地人はその無知のゆえか何も知らず芋を食べ牛馬の如く働いているのです。そして結構楽しいと思っ暮しているのです。若し援助資金を与えたとして政府役人による搾取のため何れだけ末端が潤うことでしょうか。下手な援助は意味がないばかりか逆効果を招きかねません。空しい事です。

話は変わりますが夏休みにカルカッタのスラム街を訪れたのです。この世の地獄としか言いようがありません。その終着駅は無気力な病人であふれておりました。これらの人に何が欲しいか尋ねてみたのです。「古着を下さい」と。新しいものには税金がかかってしまうのです。インド政府は一体何をやっているのでしょうか。人口が多すぎて手の下しようもないのでしょうか。とにかく絶望感をいだいて帰って参りました。今 軽々に援助についての具体策は申せませんが、地球上に文明社会にいては想像も出来ないような現実があるという事を知って頂いただけでも今日お話しをした価値があったと思います。ご清聴を感謝いたします。

スマイルBOX

東京港南RC 上坂会員 いつもお世話様です。
藤沢北RC 田尻会員 お世話になります。先般の工場見学の際にはなんのおかまいも出来ず失礼致しました。

横浜田園RC 高寿会員 お世話になります。

座間RC 田中会員 度々お邪魔致します。

大和RC 浜野会員 どうぞよろしく。

大和RC 藤本会員 毎度お邪魔致します。今後ともよろしく願います。

大和RC 江上会員 初めて伺いました。今後ともよろしく願致します。

芦田会員 土屋さん ご苦勞をおかけして申し訳ありません。原稿料はスマイルボックスに入れさせてもらいます。今後も又お願い致します。

蜂屋会員 藤沢北RCの田尻さん、ようこそ御出頂きました。日頃の御無沙汰をお詫び致します。

有沢会員 米山ボックスを設置致しました。スマイルボックス同様、或いはそれ以上に宜しくお願いします。

近藤会員 寺田さん 昨日は有りがとうございました。雨中ゴルフも又楽しかったです。

猪熊会員 鈴木会員に開店祝の記念品を大量に発注して頂いたので。

土屋会員 当分区で優秀会報に選ばれ 自分の事に嬉しく思います。上田先生以下委員会の皆さんこれからも頑張ってください。

寺田会員 すっかり忘却とは 家内に忘れなかった事に致します。平和目的のため。

石渡会員 結婚記念日お祝い有り難うございます。うっかり忘れるところでした。20何年前を思い出しつつ……………。